

## 化学物質の安全衛生管理の実際～A社の取組み事例報告～

ELE-1

花上 恭二

### 花上労働衛生コンサルタント事務所

宮城県A社において、化学物質リスクアセスメントを実施した。その折小生が参画したので事例報告致します。実施方法は1.作業環境測定手法 2.コントロールバンディング法である。1.作業環境測定(検知管法)手法においては、洗浄作業場所の測定で物質はアセトン1日使用量は20リットルである。結果はA測定：第二管理区分、B測定：第三管理区分であった。2.コントロールバンディング法では、リスクレベル1、有害性ランクAという結果になった。以上2つのリスクアセスメントを実施した結果、原点に戻るといふ考え方をするに至った。洗浄作業場所の改善には、局所排気装置の改良に膨大な費用がかかる。化学物質アセトンを、有害性の少ない物質に切り替える第三種有機溶剤のミネラルスピリット炭化水素類のノナンに切り替えるという方法である。ノナンは、販売している事が解り実際に洗浄作業で試す事も出来る。試行錯誤を繰り返した結果ノナンに切り替える事ができた。事例報告の末尾に炭化水素類への切り替えは、ピュアーなノナン、デカンが洗浄能力が強いためお勧め致します。

#### 【略歴】

昭和21年：神奈川県生まれ  
昭和44年：東京薬科大学 衛生薬学科 卒業  
昭和44年：薬剤師 登録  
昭和44年：衛生検査技師 登録  
昭和60年：作業環境測定士 登録  
平成7年：労働衛生コンサルタント 登録  
平成27年10月現在職責  
環境調査株式会社 代表取締役  
宮城労働局粉じん対策指導委員  
宮城労働基準協会技能講習講師  
宮城労働基準協会労働安全衛生マネジメントシステム部会委員  
日本労働安全衛生コンサルタント会宮城支部副支部長  
日本作業環境測定協会宮城分会分会長  
宮城産業保健総合支援センター相談員